

# 休日部活動の地域移行—令和7年度のスケジュール（案）について

資料3

休日部活動の地域への移行期間

休日部活動の完全地域移行

競技	月日	R6			R7								R8			...				
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2		3	4	5	6
A	ホッケー	→			→			→					→			→				...
B	軟式野球	★モデル活動の実施 クラブとして月1回活動			★モデル活動の継続 クラブとして月1回活動			★活動頻度の増加(1) クラブとして月2回活動(3年生引退終了後～)					★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
C	ソフトテニス	★モデル活動の実施 クラブとして月1回活動			★モデル活動の継続 クラブとして月1回活動			★活動頻度の増加(1) クラブとして月2回活動(3年生引退終了後～)					★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
D	バレーボール	→			→			→		→			→			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
E	卓球	★学校部活動として活動 クラブ活動の実施に向けた体制の検討 月1回程度、合同部活動(同じ場所で練習する機会)の設定			★モデル活動実施 クラブとして月1回活動			★活動頻度の増加(1) クラブとして月2回活動		★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
F	剣道	★学校部活動として活動 クラブ活動の実施に向けた体制の検討 月1回程度、合同部活動(同じ場所で練習する機会)の設定			★モデル活動実施 クラブとして月1回活動			★活動頻度の増加(1) クラブとして月2回活動		★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
G	吹奏楽	★学校部活動として活動 クラブ活動の実施に向けた体制の検討 月1回程度、合同部活動(同じ場所で練習する機会)の設定			★モデル活動実施 クラブとして月1回活動			★活動頻度の増加(1) クラブとして月2回活動		★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★活動頻度の増加(2) クラブとして月3回活動			★目指す方向性：休日部活動の廃止 休日は原則、地域で活動する。				...
② 受益者負担		無			無								無			※有：活動保険料+会費+α				...
③ 練習試合		→			→ 学校部活動として活動								→			※今後、要検討				...
③ 大会の出場		→			→ 学校部活動として出場								→			※今後、要検討				...

## ① 各競技の活動スケジュールについて（記載アルファベットは上表に準ずる）

- ・ABC : 令和6年度のモデル活動を引続き、4～6月（3年生引退まで）、月1回のクラブ活動を実施。3年生引退後～年末まで月2回、1～3月を月3回、4月以降は原則、月4回で活動する。
- ・DEF : 6月まで学校部活動で、月1回程度、合同部活動（同じ場所で練習する機会）を設定する。3年生引退後からクラブ活動を開始。月1回 ⇒ 月2回 ⇒ 月3回と頻度を増やしていく。
- ・G : DEF同様、月1回程度の合同部活動の機会を設定しつつ、クラブ化に向けて協議を進める。その際、楽器の運搬、活動場所など、必要事項について検討する。  
例) 活動場所 … 移動が必要な楽器を常時置いておける活動場所の拠点化の検証  
楽器 … 閉校する学校に余りがあれば譲渡。又は、大楽器のみ購入、小楽器は手運び
- ・その他 : 部活動競技以外の運動部や文化部についても、随時検討を進めていく。（時期は未定）

※進捗状況によりスケジュール等、変更になる場合があります。都度、検討委員会で報告させていただきます。

## ② 練習試合の実施と大会への出場方法について

- ・令和7年度について、学校部活動として実施する。
- ・令和8年度以降、休日部活動を行わないことを踏まえると、練習試合と大会はクラブ主体になることが理想。  
懸念事項) ・大会開催が、平日か休日か … 引率者に影響（平日開催は、クラブ指導者の引率が厳しい）  
・生徒の立場 … クラブで出場すると、エントリー（試合に出場）出来ない生徒も出る可能性  
・クラブで出場する体制が整備されていない（指導者資格の取得など）  
↓  
現時点) 学校部活動として出場することが現実的な状況にある。  
↓  
今後) ・中体連など大会主催者の方針、他市町も参考にしながら、よりよい活動の仕方を検討する。  
・各競技（団体競技・個人競技）ごとに、異なった在り方になる場合もある。

## ③ 受益者負担について

- 【送迎面】 … 地域クラブ活動は保護者送迎とする。（スクールバスは無し）
- 【費用負担面】 … 必要コストを精査し、公的負担と私的負担のバランスを踏まえ、適切な金額を設定する。  
・使途（例）：指導者謝金、道具（消耗品）購入代、大会参加費、指導者資格取得支援 など  
・令和7年度は、国、県補助を活用し、原則、受益者の費用負担は無しとする。  
・令和8年度より、費用を徴収する。（細目：活動保険料+月会費+α）  
・金額設定にあたっては、県内市町の徴収状況も参考にする。  
参考) 県内市町の状況（現時点） … 月会費500円～5,000円 + 活動保険料  
・活動保険料は、スポーツ安全保険（800円/年会費）を活用する。

## ④ その他（今年度の動きや来年度以降必要な検討事項について）

- ・令和7年度初めに、部活動地域移行の概要や実施計画について、生徒・保護者向けへの説明の場を設定する。  
⇒ 地域移行が定着するまで、しばらくの間は必要。
- ・クラブ活動時に学校行事等と日程が重なった場合は、原則、学校行事を優先とする。
- ・令和8年度の休日部活動の地域移行の開始時期をどうするか。（4月？3年生引退時期？）
- ・令和7年度も含め、学校部活動で引退した3年生の地域クラブ活動への参加も可とする。（あくまで自己判断）
- ・夏季休業など長期休業期間の活動の在り方について（原則は土日の学校部活動はしていない。）  
⇒ 各クラブ指導者と協議しながら決定していく。（競技ごとに実施の有無に相違が発生する場合もある。）
- ・令和7年度の検討委員会の開催スケジュールについて ⇒ 約3カ月周期で開催を検討。